



開会ごあいさつ

社団法人 中国地方総合研究センター
常務理事 齋宮正憲

地方シンクタンク協議会中国・四国ブロックならびに中国地域シンクタンク協議会の幹事として、一言ごあいさつ申し上げます。

昨日に引き続きまして、「シンクタンク・セッション」に多数ご参加いただき、ありがとうございます。本日は、地方シンクタンク協議会中国・四国ブロックの2007年度研究交流会を兼ねての開催となっております。東京大学の大西隆先生には、ご多用のなか本日も特別コメンテーターをお願いしております。心からお礼申し上げます。

ここ何年か、いわゆる格差拡大が問題になっております。これに対して実効ある対策が取れずに悶々としているようなところがございますが、昨日の記念講演・討論会におきましては、いくつか貴重な示唆を得ることができました。結局は地道な活動が大事であるということも理解できました。地域振興について「一発逆転ホームラン」を期待する向きも多いのですが、それは滅多に起こることはございません。昨日のお話にありましたように、地域の多様性にあわせて、それぞれに応じた「衣服」を縫い上げていくことが地域シンクタンクの役目だと、あらためて感じた次第です。

今回の研究集会の統一テーマは「地域の再構築」ですが、本日の「シンクタンク・セッション」の報告は多岐にわたっております。当初予定していた報告件数に達しなかったため、無理にお願いしたことが関係しているかもしれません。地域シンクタンクの役割が重要になっているにもかかわらず、今回の研究集会へのエントリーがあまり活発でなかったのは少し残念に思われます。折しもNIRA（総合研究開発機構）では改革を検討中です。地域シンクタンクのあり方も問われています。地域シンクタンクは、自らの存在意義をもっと確認していくことが重要であるように思いました。

いずれにしましても、報告していただく研究員の方々の努力に応えるためには、活発な討論をお願いしたいと思います。

以上、簡単ではございますが、開会のごあいさつとさせていただきます。